

第14回長野上水内教育会 夏季大学のご案内

自ら求め、学ぶ「夏」！ 長野上水内教育会 夏季大学でともに学びましょう。

申し込み方法.....下記の①または②の方法で

- ①右のQRコードで申込み ②別紙「申し込み票」を記入し代議員に渡す

開催方法...第1～4講座は、オンラインと教育会館参集のハイブリッド開催
第5～9講座と演劇の夕べは、現地集合

※ 初任者研修1年次半日、キャリアアップ研修Ⅰ・Ⅱ選択講座半日について、指定研修対象者本人の課題に即していると校長先生が認めた時は、夏季大学各講座を指定研修とすることができます。

※ 第3講座、第4講座、演劇の夕べは児童生徒・保護者に公開します。QRコードで申し込んでください。



〔日程〕

期 日	7月28日(金)		7月31日(月)	期 日	8月1日(火)	
講座名	第1講座	第2講座	臨地講習	講座名	第3講座	第4講座
Zoom入室	8:30～9:10	12:30～13:10	午前(講座ごと)	Zoom入室	9:00～9:40	12:30～13:10
開校式	9:15～9:35		演劇の夕べ			
講義Ⅰ	9:45～10:45	13:15～14:15	17:30開場	講義Ⅰ	9:45～10:45	13:15～14:15
講義Ⅱ・質疑	11:00～12:10	14:30～15:40	18:00～19:30	講義Ⅱ・質疑	11:00～12:10	14:30～15:40

1～4講座は 定員
オンライン 各500名

定員
参集 各20名

〔第1～4講座 講師・講義題・概要〕



【第1講座(教育)】

7月28日(金)午前

講 師：土田 光子 先生 (大阪多様性教育ネットワーク共同代表)

講義題：「自分を解放するための人権教育 ～部落問題学習を通して～」

「人権学習なんておもしろくないもの、なぜやるの？」と聞かれたら、また、「部落問題学習に取り組むにあたって不安や迷いがあります」と相談されたら、あなたはどうかお答えになりますか。それはどこから生じる思いか、その根本から考え、どんな取り組みを創っていけばいいのか、一緒に話し合っていきましょう。

【第2講座(教育・哲学)】

7月28日(金)午後

講 師：苫野 一徳 先生 (熊本大学教育学部准教授)

講義題：「民主主義の土台としての学校づくり～学校に“対話の文化”を～」



これまで多くの学校と学校づくりをご一緒させていただく中で、私の中で大きな確信になっていることがあります。それは、「よい学校」には例外なく「対話の文化」があるということ。そんな文化や仕組みは、どうすればつくれるのか？そして、学校教育の1番の本質である「民主主義の土台としての学校」づくりはいかに可能か？ぜひ、一緒に考えていきたいと思えます。



【第3講座(科学)】

8月1日(火)午前

講 師：福岡 伸一 先生 (青山学院大学教授)

講義題：「生命を捉えなおす～動的平衡の視点から～」

児童生徒・保護者
参加できます

「現在、私たちの周りには生命操作を巡る様々な議論がある。これらを可能とする先端技術の通奏低音には、生命とはミクロな部品が集まってできたプラモデルである」という機械論的生命観がある。ルドルフ・シェーンハイマーは、生命が「動的な平衡状態」にあることを最初に示した科学者だった。私たちが食べたものの分子は、身体を構成する分子と絶え間なく交換されつづけている。つまり生命とはプラモデルのような静的なパーツからなりたっている分子機械ではなく、パーツ自体のダイナミックな流れの中に成り立っている効果そのものなのである。この「動的平衡」論をもとに、生命とは何かを改めて考察してみたい。

【第4講座(文学)】

8月1日(火)午後

講 師：矢崎 節夫 先生 (金子 みすゞ記念館館長)

講義題：「今、こだますとき～みすゞさんのまなざし～」

児童生徒・保護者
参加できます

学生時代に出会った一編の詩に衝撃を受け、その作者である童謡詩人金子みすゞの作品を探し続け、埋もれた遺稿512編を発見。長年の努力の集積として『童謡詩人金子みすゞの生涯』(JULA出版局)を執筆し、童謡詩人、金子みすゞ記念館館長として活躍中の矢崎先生が金子みすゞの世界をお伝えします。



[第5～9講座・演劇のタベ 講師・テーマ・概要]

- (1) 会員のみ参加できます。会員のご家族の参加につきましては事務局に相談ください。(演劇のタベを除く)
- (2) 拝観料や乗り物代など参加費を集めます。当日、受付時にご提出下さい。
- (3) 表記の日程等を変更する場合があります。詳しくは後ほど配付される個別の案内でご確認ください。
- (4) 第5～9講座では雨具、日傘、飲み物等は各自でご用意ください。
- (5) 第5～9講座は保険適用となります(保険料は教育会負担)。申込時に住所等もお知らせいただきます。



[第5講座(歴史)]

7月31日(月)午前 長野市西南部

定員
20名

講師：**宮下 健司** 先生 (長野市立博物館協議会会長)

テーマ：**「善光寺地震跡を訪ねる」**

集合：6:45 川中島小玄関前 解散：12:30 川中島小玄関前 参加費：1,000円(バス代) 駐車場：川中島小駐車場
見学地：信更の湧池(大岩) 水篠橋近くの大岩 久米路橋 小松原断層・小松原伊勢社 古森沢日新館跡

弘化4年(1847)のM7.4の善光寺地震から176年目の今年、信更の湧池、水篠橋付近、久米路橋、断層ができ洪水に襲われた小松原と伊勢社、その復興過程でできた全国2番目の学校である古森沢日新館と川中島小学校を訪ねます。



[第6講座(哲学)]

7月31日(月)午前 飯綱高原

定員
40名

講師：**馬場 智一** 先生 (長野県立大学グローバルマネジメント学部准教授)

テーマ：**「哲学ランドアートと哲学対話 ～問いに始まり問いに終わる 哲学対話を経験しませんか～」**

集合：8:40 飯綱高原アンビーバ(旧アゼリア)会議室 解散：12:00 アンビーバ 参加費：100円(施設使用料)
内容：哲学ランドアート 哲学ウォーク(大谷地湿地、戸隠古道等) 哲学対話 駐車場：アンビーバ駐車場

自然の中で「哲学ランドアート」を体験したのちに、屋内でスタンダードな哲学対話を行います。自然の中で手足を動かすと、心もほぐれて安心して話せます。クイズを行ったり互いに質問しあったりして作品を味わいます。ランドアートで得た気づきや問いを、後半の哲学対話で話し合います。



[第7講座(自然科学)]

7月31日(月)午前 戸隠

定員
20名

講師：**田辺 智隆** 先生 (戸隠地質化石博物館研究員)

テーマ：**「戸隠の地層から大地の生い立ちを学ぶ」**

集合：8:10 森林囃子駐車場 解散：12:00 戸隠地質化石博物館駐車場 参加費：160円(入館料)
見学地：地層(猿丸層)→各自の車で移動→戸隠地質化石博物館 駐車場：森林囃子(もくもくばやし)駐車場

長野県は昔、海だった!今回は裾花川沿いで地層や化石、石ころなどの実物に触れ、自然から学びます。そして、博物館を見学し、大地の変化や災害、SDGsなどのかかわりを考えます。



[第8講座(歴史)]

7月31日(月)午前 松代

定員
40名

講師：**降幡 浩樹** 先生 **徳嵩 雄司** 先生
(松代文化施設等管理事務所課長補佐) (松代文化財ボランティアの会)

テーマ：**「真田信之が描いた松代の城下町～真田信之御霊屋見学と城下町構想」**

集合：7:30 大林寺 解散：11:00 大林寺 参加費：1,000円(拝観料、寺町商家でのドリンク代)
見学地：大林寺 旧前島家住宅 蓮乗寺 長國寺 祝神社 寺町商家 駐車場：大林寺駐車場

今年は、改修工事を終えたばかりの長國寺の初代藩主真田信之公御霊屋を中心に松代城下を巡ります。信之をはじめ歴代藩主が、いかにして松代10万石の城下町を発展させてきたか、その跡を訪ねてみましょう。



[第9講座(自然科学)]

7月31日(月)午前 野尻湖～関川

定員
40名

講師：**近藤 洋一** 先生 (野尻湖ナウマンゾウ博物館館長)

テーマ：**「野尻湖の水はどこへ～野尻湖の持続可能な水利用を考える～」**

集合：7:40 旧野尻湖小学校駐車場 解散：12:30 旧野尻湖小学校駐車場 参加費：1,000円(バス代)
見学地：野尻湖ナウマンゾウ博物館 水戸口水門 池尻川発電所 大熊川サイフォン 駐車場：旧野尻湖小駐車場

野尻湖は、伝九郎用水と古海用水の水で涵養されていますが、出ていく水は池尻川だけで、この水は多くの電力発電所を経由して用水として上越で利用され、河川を横切り、遠方の田畑に届くよう工夫されています。今回は先人が築いてきた持続可能な野尻湖の水利用について考えます。

[演劇のタベ]

7月31日(月)18:00～19:30
長野市芸術館アクトスペース

定員
250名

児童生徒・保護者
参加できます

俳優：**水澤 心吾** さん

「決断 命のビザ～SEMPO杉原千畝物語～(一人芝居)」

会場：長野市芸術館アクトスペース 開場：17:30 公演：18:00～19:30

※ 駐車場は「緑町立体駐車場」「第3駐車場」をお使い下さい。駐車券をお持ちいただき、受付横の機械認証処理をすると2時間まで無料です。それ以上は1時間100円ご負担いただきます。



杉原千畝(1900年-1986年)は日本の官僚、外交官。第二次世界大戦中、外務省の命令に反してトランジエツトビザ(通過査証、通過ビザとも)を発給することでドイツによる迫害から約6,000人のユダヤ人を救った。海外では、センポ・スギハラ、「東洋のシンドラ」とも呼ばれる。俳優の水澤心吾氏が杉原さんの半生を一人芝居でお伝えします。